

# 災害廃棄物処理計画 【震災概要版】 平成 30 年 3 月

## 1. 計画の位置づけ (第1編第1章 基本的事項より)

本計画は、国の災害廃棄物対策指針（平成26年3月）を踏まえ、県計画（平成28年3月）で想定された災害・被害をもとに、本町における防災対策全般の計画である池田町地域防災計画と整合を図り策定する。

## 2. 対象とする災害と被害想定 (第1編第2章 災害廃棄物処理の概要より)

① 震災 表 1-1 地震ごとの被害想定

地震	規模	家屋被害（棟）			避難者数
		全壊	半壊	焼失	
南海トラフ巨大地震	M9.0	304	856	2	1,141
養老－桑名－四日市断層帯	M7.7	1,874	3,004	28	5,306
阿寺断層系	M7.9	0	21	0	17
高山・大原断層帯	M7.6	0	15	0	12
跡津川断層帯	M7.8	0	61	0	48

## 3. 組織体制 (第1編第2章 災害廃棄物処理の概要より)

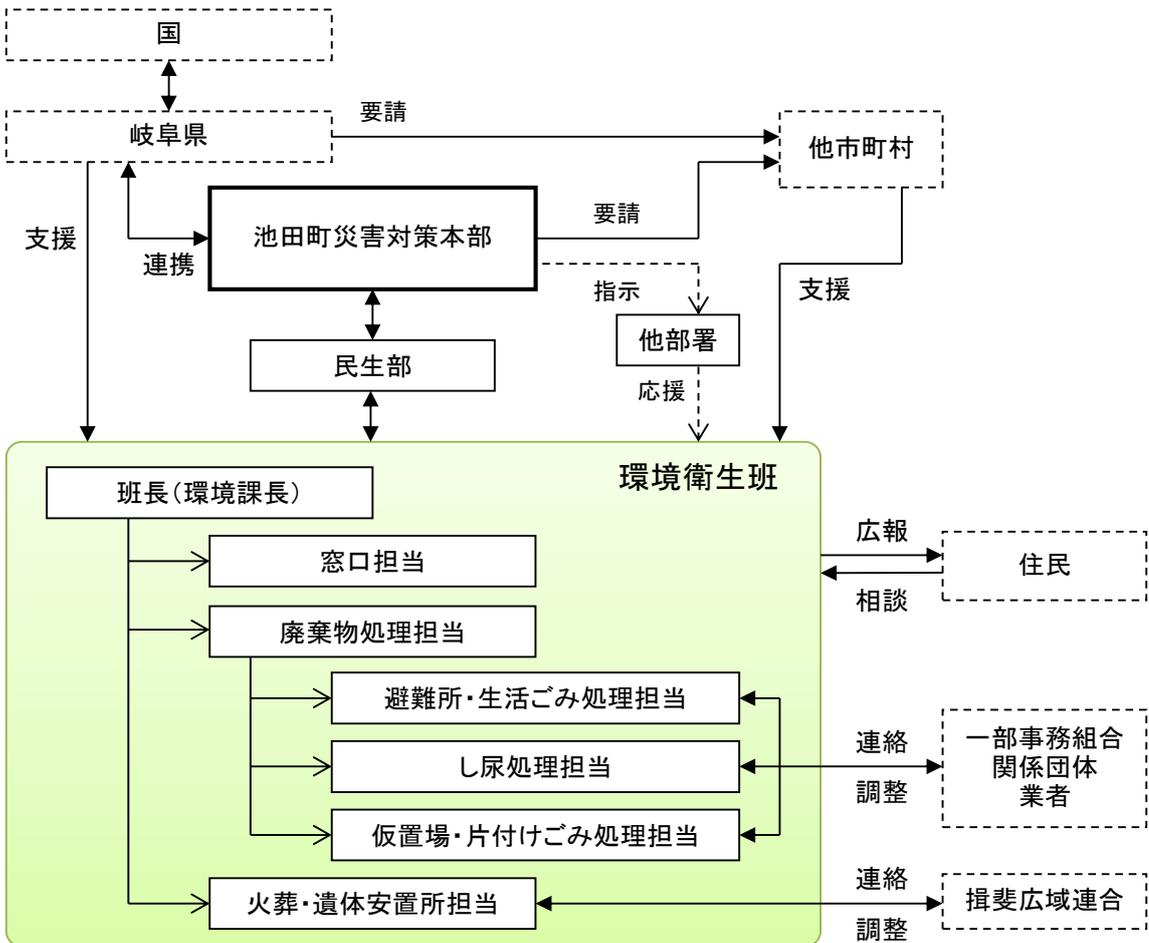


図 1-4 災害時における廃棄物処理体制

#### 4. 協力・支援体制

#### (第1編第2章 災害廃棄物処理の概要より)

- (1) 自衛隊・警察・消防との連携
- (2) 地方公共団体との連携
- (3) 民間事業者との連携
- (4) 社会福祉協議会（ボランティア）との連携

#### 5. ごみ・し尿の発生量の想定

#### (第2編第1章 被災者の生活に伴う廃棄物の処理より)

表 2-1 避難所ごみ発生量（県計画で推計）

地震種別	避難者数 (人)	原単位 <sup>注)</sup> (g/人・日)	避難所ごみ 発生量 (t/日)
南海トラフの巨大地震	1,141	603	0.7
養老－桑名－四日市断層帯地震	5,306		3.2
阿寺断層系地震	17		0.0
高山・大原断層帯地震	12		0.0
跡津川断層帯地震	48		0.0

※ 東日本大震災における仙台市の実績は、避難者1人1日あたり929グラム。

表 2-3 仮設トイレ必要基数（県計画で推計）

地震種別	し尿収集 必要量 (L/日)	避難者人数あたり 仮設トイレ必要設置数（基）		
		20人	50人	80人
南海トラフの巨大地震	8,419	60	24	15
養老－桑名－四日市断層帯地震	20,373	350	140	88
阿寺断層系地震	6,339	7	3	2
高山・大原断層帯地震	6,329	7	3	2
跡津川断層帯地震	6,523	11	4	3

本町の地域防災計画では避難者200人に対して、大小便器それぞれ5基ずつ以上設置するとしています。また、国のガイドライン（平成28年4月）では災害発生当初は約50人に1基、避難が長期化する場合は20人に1基設置するとしています。

表 2-7 災害時の避難所ごみ・生活ごみの処理優先順位

優先順位	ごみの種類	特徴
高 ↑ ↓ 低	感染性廃棄物	緊急の医療行為に伴い発生する廃棄物。回収・処理方法は関係機関との調整が必要。
	使用済み簡易トイレ（し尿）	簡易トイレのし尿は、感染や臭気の面でもできる限り密封して管理する必要がある。
	腐敗性廃棄物（生ごみ）	ハエ等の害虫や悪臭の発生が懸念される。袋に入れて分別保管し、早急に処理を行う。
	その他燃えるごみ	袋に入れて分別保管し、処理を行う。
	不燃ごみ、資源ごみ	不燃ごみ、資源ごみについては、保管が可能ならばできるだけ家庭や避難所で保管する。

6. 災害廃棄物処理の流れ (第2編第2章 災害によって発生する廃棄物の処理より)

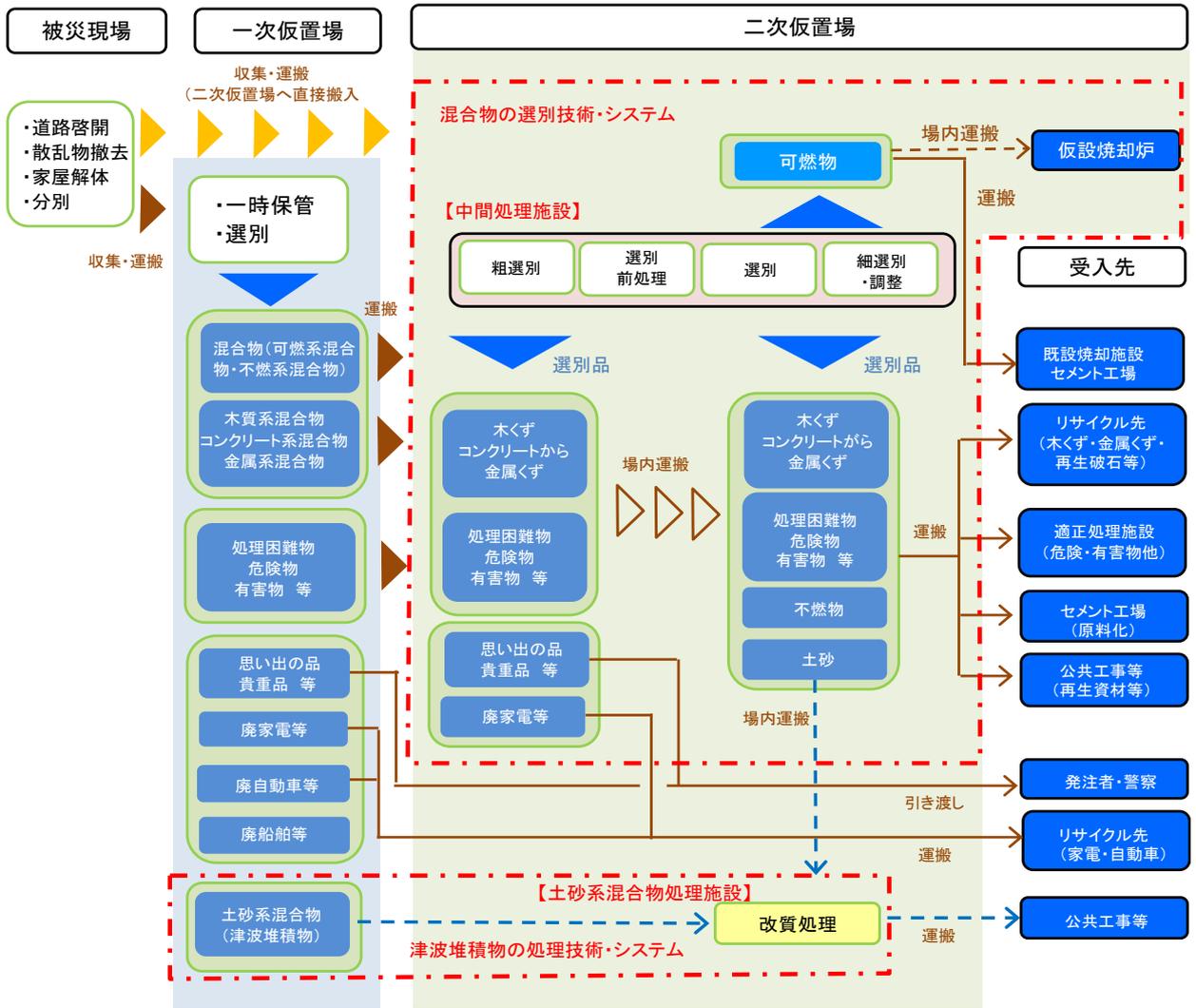


図 2-1 災害廃棄物処理の流れ (概要)

7. 災害廃棄物発生量の推計 (第2編第2章 災害によって発生する廃棄物の処理より)

表 2-10 震災廃棄物発生量

地震種別	建物被害 (棟)		災害廃棄物発生量 (トン)			体積 (m <sup>3</sup> )
	全壊棟数	半壊棟数	可燃物	不燃物	合計	
南海トラフの巨大地震	307	856	10,000	40,000	50,000	61,000
養老-桑名-四日市断層帯地震	1,902	3,004	49,000	207,000	256,000	310,500
阿寺断層系地震	0	21	0	0	0	0
高山・大原断層帯地震	0	15	0	0	0	0
跡津川断層帯地震	0	61	0	1,000	1,000	1,000



① 仮置場必要面積 表 2-16 仮置場必要面積

地震種別	災害廃棄物発生量		仮置場必要面積 (m <sup>2</sup> )
	重量 (トン)	体積 (m <sup>3</sup> )	
南海トラフの巨大地震	50,000	61,000	23,000
養老-桑名-四日市断層帯地震	256,000	310,500	97,500
阿寺断層系地震	0	0	0
高山・大原断層帯地震	0	0	0
跡津川断層帯地震	1,000	1,000	5,800

② 仮置場候補地 表 2-17 仮置場候補地一覧

No.	名称	所在地	面積 (m <sup>2</sup> )	優先度*		
				混合	一次	二次
1	池田公園	粕ヶ原 231 番地	25,800	△	◎	○
2	上八幡地区農村公園施設	八幡 1612 番地の 1	2,200	-	○	-
3	いこいの森池野	六之井 1765-1	2,100	-	○	-
-	池田南部公園	市橋地内	-	-	-	-
合計			30,100			

※優先度 ◎：最優先、○：高い、△：他の場所が確保できない場合、-：使用しない

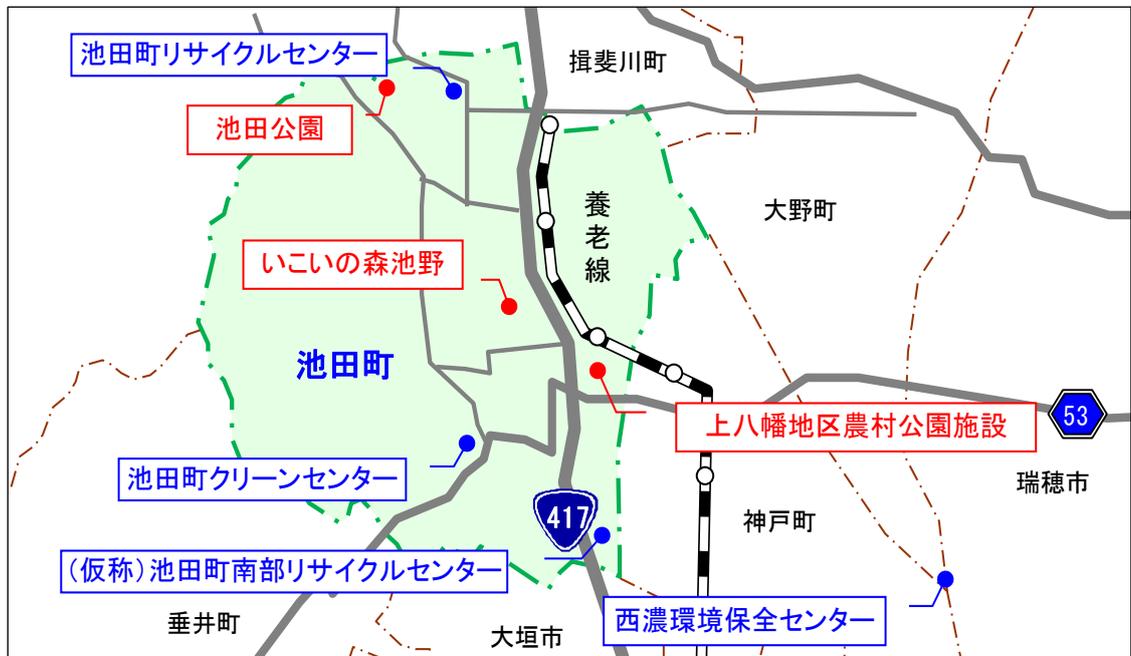


図 2-5 仮置場等位置図

・各家庭では、分別した状態で積み込み、搬入し、場内では指定箇所に順次誘導する。

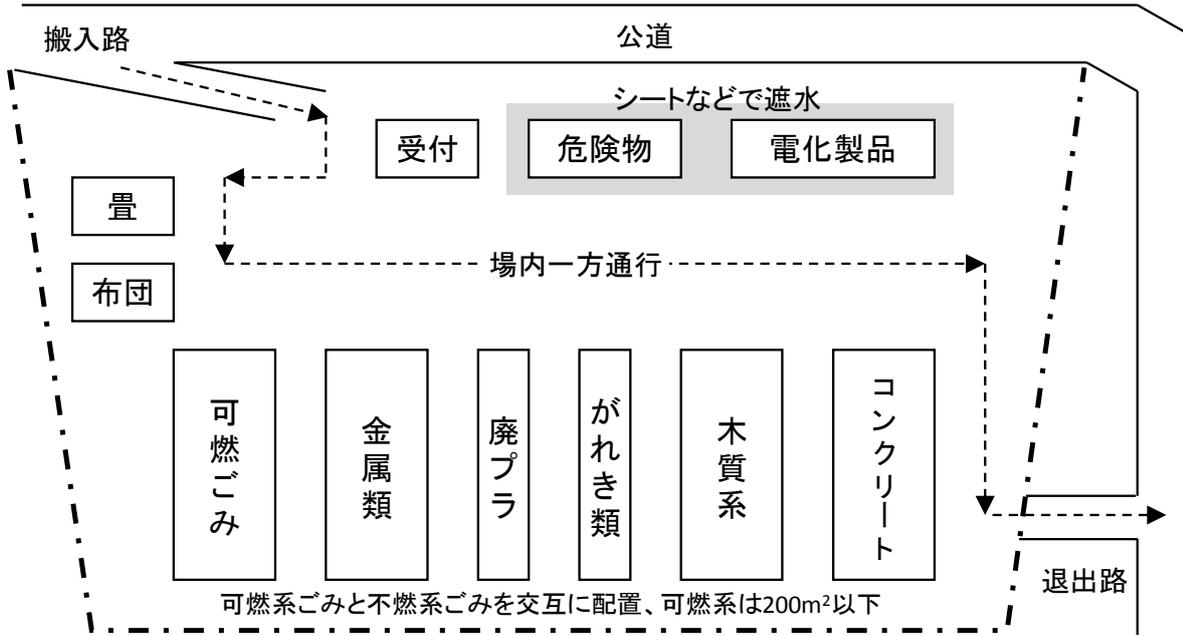


図 2-7 一次仮置場の場内配置模式図

10. 中間処理・再資源化・最終処分 (第 2 編第 2 章 災害によって発生する廃棄物の処理より)

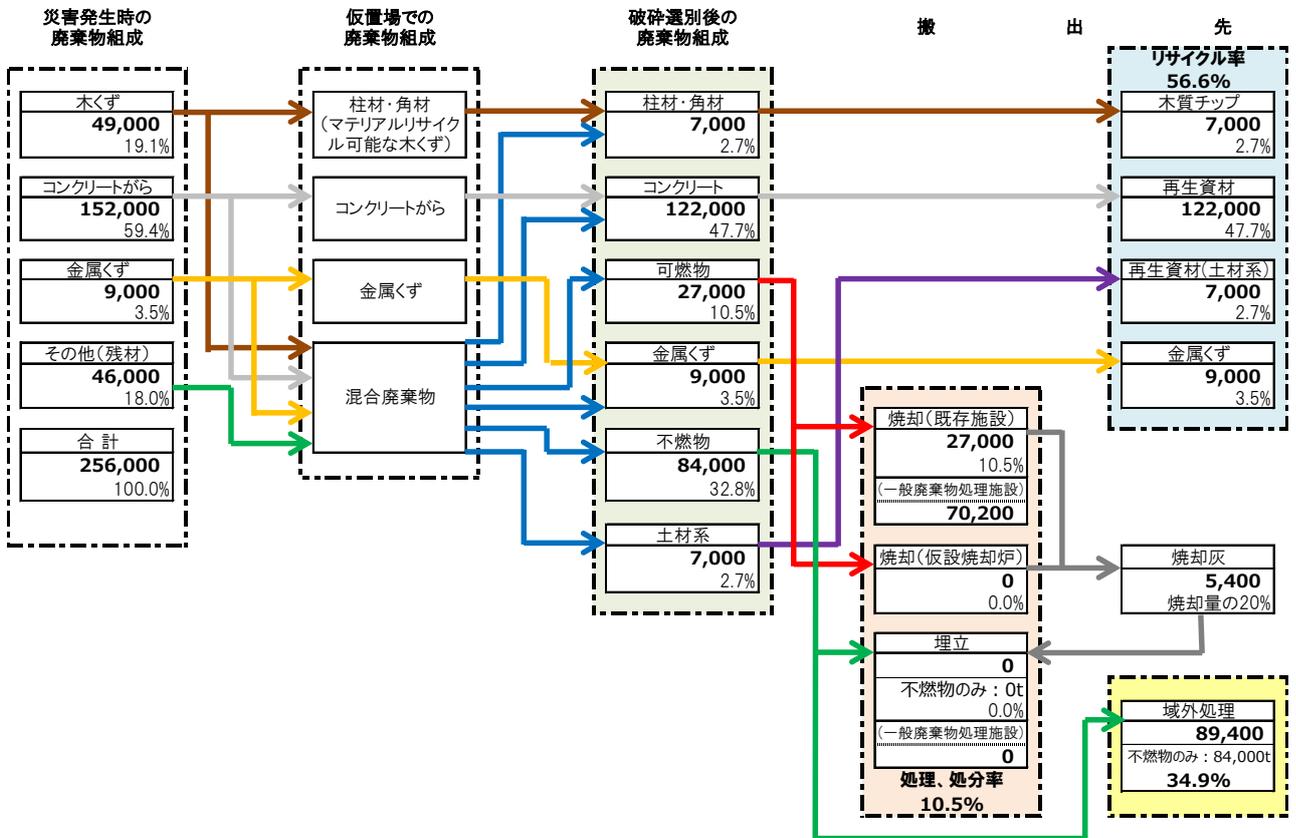


図 2-9 養老一桑名一四日市断層帯地震における災害廃棄物処理フロー

## 11. 損傷家屋等の撤去等 (第2編第2章 災害によって発生する廃棄物の処理より)

損傷家屋等の解体・撤去は原則として所有者が実施しますが、倒壊してがれき状態になっている建物及び敷地外に流出した建物については、本町が下記のフロー図により撤去することができます。

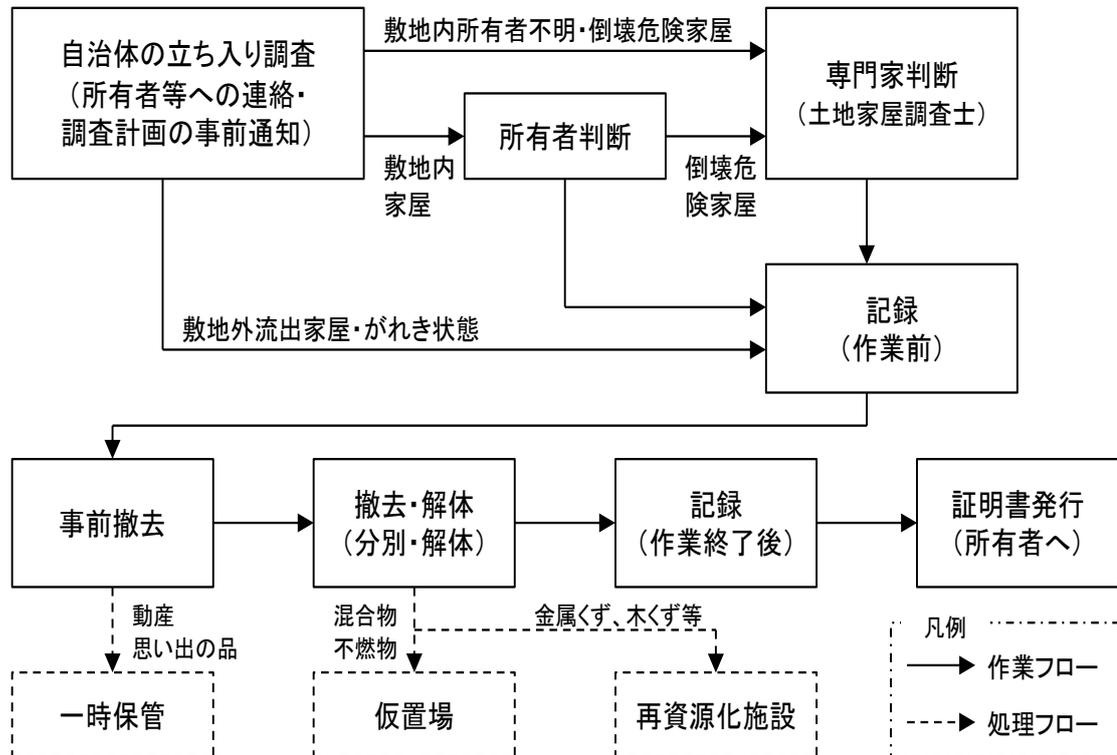


図 2-12 解体・撤去の作業及び処理フロー

## 12. 資料編

- ・ 震災廃棄物発生量簡易推計式
- ・ 避難所ごみ発生量・仮設トイレ必要数簡易推計式
- ・ 災害時のごみの出し方について
- ・ 指定避難所一覧
- ・ 国、県、関連団体連絡先一覧
- など